

令和7年度 今治市さざなみ園指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市さざなみ園
所在地	今治市大三島町宮浦336
指定管理者	名 称 社会福祉法人で・ふ・か 代表者 理事長 日浅寿美 住 所 今治市常盤町5丁目2-39
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。
担当部課 (問合せ先)	健康福祉部 障がい福祉課 TEL : 0898-36-1527 E-mail : syougaihukus@imabari-city.jp

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	さざなみ園の基本方針に基づき利用者の一人ひとりに応じたサービス提供について、毎月の職員ミーティングを通して個別支援の充実に努めた。日々の支援記録を活用し、小さな変化にも気づけるよう情報共有を行った。また、地域とのつながりを大切にし、学校等との交流を積極的に実施するとともに、関係機関とも連携を図りながら情報共有に努めた。	A	施設の設置目的や管理運営の基本方針を理解し、おおむね適切な運営が行われています。島しょ部で唯一の公的な作業所です。保健師等関係機関と連携し、支援につながるよう情報共有に努めてください。
利用状況	B	問い合わせ件数は増加傾向にあったものの、実際の通所利用にはなかなか結びつかない状況も見られた。その中で関係機関と利用状況等について情報共有や連携を図り、パンフレット配布などを通して新規利用者の確保に努めた。	B	サロン利用者・イベント参加者ともに増加していますが、延べ利用人数、実利用人数が伸び悩んでいる。ただし、電話問い合わせはありましたが見学者数・体験者数が低調です。関係機関との交流や情報共有を密にし、また効果的な広報活動により利用者増への取組を継続してください。
事業収支	B	イベント等の参加者数は例年と同等であり、収入面についても大きな増減はなく横ばい。農作物の販売についても例年通りの状況。支出面についても昨年度とほぼ同様であり、全体として安定した運営状況であった。	B	収入支出とも適切に管理できています。人件費の増加と、施設の老朽化に伴い、修繕等の必要箇所も増加しているため、7年度は支出超過になりました。利用者に施設で快適に過ごしていただくため、要望を聞き取り、利用者目線の施設運営を心がけてください。

管理運営体制	B	施設内研修では、利用者一人ひとりの立場に立った支援のあり方や福祉サービス提供に必要な知識・技術の習得に努めた。また、ロールプレイ形式の研修や職員から提案された事例をもとに検討を行い、職員間で積極的に意見交換を行うことで情報共有と支援の質の向上を図った。	B	有資格者や職員配置は仕様書どおりできています。法人外からの知識・技術取得のため、派遣研修への参加もご検討ください。
管理運営業務	A	管理業務において仕様書に定められた基準に基づき適切に実施することができた。日々の訓練では利用者の作業能力の向上や社会適応能力を高めるための取り組みを継続して行った。また、防災面ではマニュアルを整備し、利用者の安全確保を第一に考え、定期的に避難訓練を実施した。	A	仕様書に定められた基準に従い管理できています。日常生活や余暇時間を充実させるための取り組みや定期的な避難訓練ができています。また、作業終了後、利用者職員と一緒に清掃作業に取り組むなど、施設全体で地域や施設美化に取り組んでいます。
利用業務	B	サロン活動では、利用者や地域の方々が共に参加する形が徐々に定着し、地域の交流の場として広がりを見せています。また、日々の創作活動で制作した作品を展示するアート作品展では、障がい者への理解や共感を深める機会となりました。さらに、他事業所へのチラシ配布、広報誌への掲載を通して、活動内容を広く周知することができました。	B	延利用人数は減少していますが、サロン利用者やイベント参加者が増加しており、地域の交流の場として広がっています。地理的な運営の難しさはありますが、次年度以降も周知強化をして利用者増加に取り組んでください。
その他業務	A	イベント開催中の日曜日を閉所することなく利用できるように努めました。また、利用者の多くは大三島以外から通われているため送迎時には天候に留意し、所轄課と相談し事故につながらないように努めました。	A	各種マニュアルは整備されており、避難訓練も年2回実施できています。事故防止の準備もされています。今後も事故等に注意して運営してください。
修繕業務	B	施設の修繕について、常に市担当者との協議すると共に園の予算で出来るものは早期に修繕を行っている。利用者の送迎車においても、3カ月毎の定期検査を実施しておりオイル、タイヤ交換等定期的におこなって事故防止に努めている。	B	利用者送迎のための公用車に係る修繕、整備が適切にできています。送迎業務に万全を期すため、日頃の車両点検も確実に行ってください。また、施設の老朽化により修繕必要箇所が増加していると思われますが、施設利用に影響しないよう計画的な修繕をお願いします。
備品管理業務	A	利用者の利便性を図るため、備品の購入を検討しています。	B	備品の老朽化の把握に努め、利用者ニーズも汲み取りながら、備品の購入・管理に取り組んでください。
行政財産の目的外使用許可 手続業務				
自主事業	A	アート作品展や学習会には地域の方々にも参加していただき、交流の機会が広がりました。活動を通して、障がいへの理解を深めていただくとともに、親しみを持って関わっていただける機会となりました。	B	障がい者アート作品展や参道清掃等の実施により、児童や地域との交流につながる活動ができています。今後も、趣向を凝らした事業開催により、施設の魅力を引き出してください。
地域団体との連携	A	当園のサロン活動や各種イベントを通して、日常的な交流や世代を超えた関わり場の場づくりに取り組みました。また福祉団体による講師派遣などを行い、利用者と地域住民が自然に交流できる機会となりました。さらに行政だけでなく各種団体にも積極的に参加していただき、地域とのつながりを深めることができました。	A	利用者の支援につなげるため、相談事業所や医療機関等関係機関との連携が取れています。イベント開催時に地元住民との交流も生まれています。今後も利用者増や利用者の支援に繋げていくため、密なる交流の場を継続していきましょう。

利用者アンケート	A	利用者アンケートは毎年実施し、内容を工夫しながら利用者ニーズの把握に努めています。また、イベント終了後には参加者へのアンケートを行い、意見や要望の分析を実施しています。今後は回答しやすい方法やフィードバックの充実を図り、より活用しやすいアンケート内容となるよう改善していきます。	B	職員対応や施設整備について、満足度の高い回答となっています。特に工賃・作業内容については、利用者の通所意欲に直結するため、丁寧な聞き取りをお願いします。また、相談者として複数の方が施設職員を挙げています。利用者と職員の信頼関係の表れだと思いますので、引き続き利用者が満足できる施設運営をお願いします。
事故・苦情	A	利用者の安全を第一に考え、職員の意識向上に努めました。台風等災害が予想された場合は、早めの行動を取るよう努めています。	A	苦情はありませんでした。気象情報を早期把握し、安全安心に送迎するよう対応できています。3島送迎により日々長距離走行となるため、毎日の車両点検の確実な履行をお願いします。
指定管理者の経営状態			貸借対照表等については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められました。指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において、特に気になる数値はなく、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められました。	

総 合 コ メ ン ト (市)

当該施設は、島しょ部で唯一、精神障がい者の通所が可能な作業所であり、地域における重要な拠点としての役割を担っています。大島、伯方島、大三島の利用者が通所しやすい環境を作るため、送迎を実施し利用者の通所手段を確保しています。陸地部に比べ施設運営について大変な立地条件ではありますが、関係機関と協力して連携を図っています。障がい者施設の枠組みを超えて地域活性化へ繋がる活動を行うなど、他施設とは違う存在感を示しています。引き続き、島しょ部における作業所として、また地域交流の場としての活動を期待します。